

市川市立福栄中学校 令和7年度 学習の指針

教科	社会科	学年	1年
----	-----	----	----

1. 学習の目標

- ・身の回りで起こっている社会事象に興味・関心を持ち、自主的に社会科の学習に取り組めるようになる。
- ・社会に関する知識を用いて、自分の思考力、判断力を磨き、それを表現できる力をつける。
- ・様々な資料を適切に活用する力を身に付ける。
- ・社会事象に関する知識、理解を深める。

2. 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	<p>【地理的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○世界の姿 大陸と海洋、地域区分、世界の国々、緯度経度、地球儀と世界地図 ○日本の姿 日本の位置、時差、領域、都道府県 <p>【歴史的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○時代や年代の表し方 ○人類の登場～文明の発生 ○国家づくり 	<p>【地理的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界や日本の地理的な特徴を理解するための基本的な知識や資料の読み取り方、考え方を身につける。 ・世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、井戸や軽度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現できる。 <p>【歴史的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の文明の特色と関連させながら、日本の古代国家がどのように作られていったのかを理解する。
2 学期	<p>【歴史的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○展開する天皇・貴族の政治（平安） ○武士の世の始まり ○鎌倉を中心とした武家政権 ○南北朝と新たな幕府（室町） <p>【地理的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人々の生活と環境 ○アジア州～南アメリカ州 	<p>【歴史的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴族が行った政治や、中国の影響を受けた文化がどのように広がったのか、理解する。 ・武士が台頭して武家政権が成立し、その支配が広がったことを理解できる。 ・蒙古襲来から鎌倉幕府の滅亡、南北朝の動乱、室町幕府の成立までの経緯を理解する。また、室町時代当時の日本の領域について理解する。 <p>【地理的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の人々の生活と気候との関連を理解する。 ・各州の生活・文化・産業の様子を多角的に考える。
3 学期	<p>【地理的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○オセアニア州 <p>【歴史的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人々の結びつきが強まる社会（室町） ○十字軍遠征・大航海時代 ○戦乱から全国統一へ（安土・桃山） 	<p>【地理的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オセアニア州に暮らす人々の生活をもとにオセアニア州の地域的特色を大観し理解できる。 <p>【歴史的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業など諸産業の発達や、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立が大きな社会の変化であることや、商品流通が活発化したことを理解する。 ・新航路開拓やキリスト教世界の広がりが近世社会の基礎がつけられたことを理解する。 ・信長、秀吉の事業により、中世社会の勢力が力を失い、近世社会の到来が促されたことを理解する。

3. 評価

(1) 内容および方法

	評価の内容	評価の方法
①知識・技能	地理や歴史、公民に関する知識が身についているかや、表やグラフ、写真、地形図などからどのようなことがわかるかを的確に読み取る力。	定期試験、小テスト
②思考・判断・表現	地理や歴史、公民に関するできごとや事象がなぜ起こるのか、どのようにして起こるのかを考える力、人にわかりやすく説明する力。	定期試験 単元末評価シート 授業内発問の解答内容など
③主体的に学習に取り組む態度	地理や歴史、公民に関心を持ち、自分から積極的に学習に取り組める力。工夫して学習に取り組む力。粘り強く学習に取り組む姿勢。	提出物（気づきノート、ワーク等） 単元末評価シート 授業中の発言やリアクション、話し合いのようす

(2) 観点と評価の関係

			評価
A	A	A	5
A	A	B	4
A	B	B	3
A	A	C	
A	B	C	
B	B	B	
B	B	C	
A	C	C	
B	C	C	2
C	C	C	1

＜評価の注意事項＞
各観点において
とても満足できる場合 A
満足できる場合 B
努力を要する場合 C
各観点の評価をもとに評価を決定します。
定期試験で満点を取り「知識・技能」・「思考・判断・表現」がともにA評価であっても、章末評価シートやノート、ワークなど「主体的に学習に取り組む態度」がBまたはCの場合、評価が「5」にはならないということです。定期試験以外の評価が重要であるという認識をしっかりとって日頃から学習に打ち込んでほしいと思います。

4. 教科に関するアドバイス

中学校の社会科では、小学校で学んだ地理、歴史、公民の分野をより広く、深く学んでいきます。社会科という教科は、実生活に密接に関わっており、社会科の学習を深めることで、自分の身の回りに起きているさまざまな事象を知り、考えることができます。ニュースで取り上げられていることも少しずつ理解できるようになります。暗記科目ではありますが、実際に社会で起こっている出来事につなげて学習を進めていけば、より実用的な知識が定着します。楽しみながら、考えながら学習しましょう。また、わからないことがあったら、すぐに調べたり、ほかの人に聞いたり、わからないことをそのままにしないようにしましょう。